

令和8年 6月定例会 概要 (会期 6月11日～7月1日)

令和8年6月定例会県議会では、令和8年度一般会計補正予算案など21件の議案等が審議され、予算議案及び条例議案等15件、意見書案3件が可決、同意されたほか、県民の方から提出された請願1件が採択されました。

○令和8年度補正予算関係

- ・令和8年度佐賀県一般会計補正予算（増額後総額約5,551億2,200万円、対前年同期比6.3%増）
- ・財政調整積立金特別会計補正予算、産業用地造成事業特別会計補正予算 など計5件

令和8年 6月定例会で条例などが次のとおり可決されました

■ 条例（4件可決）

○佐賀県立博物館及び佐賀県立美術館の使用料に関する条例の一部を改正する条例

【内容】県立博物館及び県立美術館における夜間開催のニーズに応じることができるよう展示室及び画廊の貸し出し時間を拡充するもの。

他3件

■ 意見書（3件可決）

- 交通事故等による被害を受けた胎児に係る法整備についての意見書
- 教育・保育施設等に係る公定価格の地域区分の見直しに関する意見書
- 地方財政の充実・強化に関する意見書

■ 請願（1件採択）

○佐賀県における公共図書館及び学校図書館の図書調達の見直しを求める請願書

その他の議案等はこちら➡

令和8年6月定例会
議案採決結果一覧表（PDF）



・令和8年6月定例会の概要、可決された条例・意見書など	1
・本会議質問 15人の議員が行った主な一般質問と答弁要旨	2～5
・委員会の概要 各常任・特別委員会の主な審議事項など	6～7
・その他の議会活動など	8



本会議質問

各議員が行った質問の中から一部を紹介いたします。

質問議員 ※質問順

一般質問

6月17日(水)

- 大場 芳博 (おおば よしひろ)
- 石倉 秀郷 (いしくら ひでさと)
- 徳光 清孝 (とくみつ きよたか)
- 武藤 明美 (むとう あけみ)
- 中本 正一 (なかもと しょういち)

6月18日(木)

- 西久保 弘克 (にしくぼ ひろかつ)
- 指山 清範 (さしやま きよのり)
- 田中 秀和 (たなか ひでかず)
- 青木 一功 (あおき かずのり)
- 岡口 重文 (おかぐち しげふみ)

6月19日(金)

- 下田 寛 (しもだ ひろし)
- 野田 勝人 (のだ まさと)
- 弘川 貴紀 (ひろかわ たかのり)
- 坂口 祐樹 (さかぐち ゆうき)
- 藤木 卓一郎 (ふじぎ たけいちろう)



各議員の質問の質問の様子は「佐賀県議会映像配信」で「確認ください」。



各議員の「質問の様子」は「二次元コード」が読み取れないときは、カメラのズーム機能を利用してお試しください。



自由民主党
大場 芳博 議員
唐津市・玄海町選出



山口知事の政治姿勢等について



問 知事は平成27年の就任以来「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を掲げ県政を進めてきた。その中には評価すべき取組みも多くあったが、課題や反省点についても見詰めなおす必要がある。3期にわたるこれまでの県政運営について、成果と課題をどのようにに総括しているのか。また、現在、県政が抱える様々な課題をどのようにに受け止めているのか。その上で、次期知事選挙に出馬する考えがあるのか。知事自身の言葉で語っていただきたい。



答 この11年間、私なりに日々最大の使命は、県民の命と暮らしを守ること。救える命を救うという強い信念で常に危機管理と向き合ってきた。そして、それぞれの地域の価値を表現することを大切に、佐賀県のポテンシャルを引き出してきた。

年末の次期知事選挙について、私、山口祥義は、大好きな佐賀県民の皆さんとともに、新たな価値をさらに生み出し続ける佐賀県を創るべく、再び挑戦する決意をした。これから世界に誇れる佐賀県、未来に向けて更に飛躍する佐賀県を目指し、全力を尽くす。



自由民主党ネクストさが
石倉 秀郷 議員
杵島郡選出



3期目の総括と4期目の出馬について



問 知事は就任以来一貫して「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を基本理念として危機管理対応や幕末維新博、SAGAアリーナ整備など成果を上げ着実に県政を前進。S・P構想の進化や県立大学開学に向けた準備など経済界の期待も大きい。玄海原発や空港の自衛隊使用などの国政課題にも、難しい舵取りの中苦渋の選択・決断で進めてきた。昨年の県民世論調査でもリーダーシップが支持され私自身も高く評価しているが、知事は3期目をどう総括し、4期目出馬をどう考えるか。



答 3期目は常に先を見据え、世界に向けて続けてきた挑戦が花開き、地価公示や一人当たり県民所得、有効求人倍率、人口動態といった指標にも現れているのではないかと感じる。私は新たな価値をさらに生み出し続ける佐賀県を創るべく知事選挙に挑戦する決意をした。「挑戦なくして伝統なし」。佐賀が持つ本質的な価値を磨き積み重ねていく挑戦が佐賀県の未来を切り開く道であると信じている。これから人を大切にしながら、世界に誇れる、未来に向けて飛躍する佐賀県を目指し、全力を尽くす。

他の質問項目▶ 中東情勢の緊迫化に伴う物価高対策／佐賀空港／九州新幹線西九州ルート



県民ネットワーク
徳光 清孝 議員
佐賀市選出



部活動の遠征等における安全確保について



問 5月6日、磐越自動車道で高校部活動の遠征に向かうマイクロバスが事故を起こし、死傷者がでた。この事故を受けて文部科学省は、部活動遠征の安全確保の通知を出した。今、全国で部活動の移動手段の実態調査が行われている。佐賀県でも安全対策の徹底が必要だ。現在のルールはどうなっており、実態はどうか。また、県教育委員会として今後、どう安全確保対策を図っていくのか。



答 今回の事故を受けて、改めて安全確保を最優先とした対応を徹底していきたい。部活動移動のルールでは、公共交通機関の利用を原則とし、一定の条件を満たした場合、教職員による後援会等のマイクロバス使用を認めている。また、遠征時のバス利用調査では、多くの学校で後援会等のマイクロバスの利用があり、教職員の運転のほかに保護者による運転も一定数あった。そこで、保護者が運転する場合、必ず教職員が同乗し、生徒の安全管理に努めることとし、現在、貸切バスやレンタカーなどの利用も含めた包括的なルールの策定を検討している。

他の質問項目▶ 県警DNA型鑑定不正問題／物価高対策／県立大学



日本共産党
武藤 明美 議員
佐賀市選出



困難な問題を抱える 女性への支援について



問 最近の物価高騰の中で貧困は一層深刻化しており、また、パワハラ、モラハラ、DV、性的被害などによって心や体が傷つき、孤立している女性も少なくない。県でも「佐賀県困難な問題を抱える女性への支援基本計画」を策定しているが、どのような取組状況になっているのか。

答 また、女性が安心して相談できる環境を作るためには、相談スタッフの定着や相談スキルの向上支援が必要と考えるが、相談支援体制の充実について、どのように取り組んでいくのか。



答 「佐賀県困難な問題を抱える女性への支援基本計画」では、女性が直面する様々な困難に対応するために、市町の女性相談支援員の配置、女性相談支援員等の相談支援に対する資質向上、女性支援に携わる関係者の連携強化に取り組んできた。

女性相談支援体制については、困難な事例を想定した研修の開催や検討会などを実施しており、民間団体との連携も図っている。女性が問題を一人で抱え込まず、必要な支援につなげ、自分らしく安心した生活が送れるよう、女性支援にしっかりと取り組んでいく。

他の質問項目▶ 原子力行政／ホルムズ海峡危機対策／加齢性難聴に対する支援／高校教育改革



公明党
中本 正一 議員
佐賀市選出



住宅用火災警報器の設置 及び維持管理の促進について



問 本県の住宅用火災警報器の設置率は76・6％と全国平均を下回り、全国44位、条例適合率も57・8％と低い水準にとどまっている。この状況をどのように受け止めているのか。

答 また、住宅火災による死亡事故を防ぐためには、設置の推進に加え、電池切れや故障への対応など維持管理の徹底も重要である。特に設置率が低い高齢世帯への働きかけが課題と考えるが、市町や消防本部と連携し、設置率向上と適切な維持管理にどのように取り組んでいくのか。



答 住宅用火災警報器は、住宅火災の早期発見や死者の低減、被害軽減につながる重要な設備である。一方で、本県における設置率や条例に基づく適切な設置割合が全国平均を下回る状況は、県民の安心・安全の観点から課題であると認識している。

今後は、設置の重要性の理解浸透を図るとともに、市町や消防本部、消防団、民生委員などと連携した普及啓発が重要。各地の効果的な取組事例を共有し横展開を図ることで、設置率向上と適切な維持管理の促進に取り組みたい。

他の質問項目▶ 県立大学／中東情勢の悪化を踏まえた公共交通への支援／人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）の普及啓発



自由民主党
西久保 弘克 議員
佐賀市選出



県立大学について



問 この一年、県立大学について様々な議論があつたが、あたかも県立大学設置が決定したような議論であることに疑問を感じており、議論をいまだ一度原点に戻したいと思う。県は県立大学の必要性として、県内に公立大学の必要性を「佐賀にはないから」と県内で閉じて考えるべきではない。佐賀県から1時間程度で通える隣県に十分な数の高等教育機関がある中で、県立大学がなぜ必要なのか。また、県立大学の開学はまだ正式に決まっていないと考えるが、県の認識を問う。



答 佐賀県は子どもの割合が高いが、大学進学者の8割以上が県外に進学してしまい、一度県外に出てしまつと佐賀県内への就職につながりにくい。そもそも、大学進学者が増加する中、佐賀県には県立大学がなく、学生にとつて県内進学を選択肢が少ない状況である。少子化の中、この状況を放置することは佐賀県の将来を先細りさせてしまう。県立大学は令和11年4月開学を目指しており、都度、議決を受けながら段階的に進めていきたい。

他の質問項目▶ 警察本部長の責務と役割／荒廃農地対策／知事の4期目に向けた考えと今後の佐賀県政



自由民主党
指山 清範 議員
鳥栖市選出



鳥栖地区の 浸水対策について



問 近年の気候変動により豪雨災害が激甚化・頻発化し、鳥栖地区においても被害が発生している。特に県道久留米基山筑紫野線は一次緊急輸送道路でありながら度々冠水が発生し、緊急車両の通行確保が課題である。このため早急な対策が求められるが、これまで鳥栖市浸水対策検討会においてどのような議論・検討が行われてきたのか。また、今後の県の対応方針について問う。あわせて、西田川流域の整備状況と浸水対策の進め方について問う。



答 鳥栖市浸水対策検討会はこれまで6回開催され、鳥栖南部地区や駅周辺、基里地区、旭地区における浸水状況の確認と対策の検討を行っている。県道久留米基山筑紫野線が通る南部地区では、河川での伐採、農薬用取水堰の事前転倒、ポンプの早期稼働など、できることから対策に取り組んでいる。西田川については筑後川合流点から約2・5キロ区間で整備を進めており、県道中原鳥栖線までの区間で暫定的な河道整備が完了している。現在は下流から、再度完成形に向けた整備を進めている。今後も国・県・鳥栖市で連携し浸水対策を進めていく。

他の質問項目▶ 医療的ケア児への支援／犯罪抑止対策と再犯防止／県東部地域の道路整備／九州新幹線西九州ルート



自由民主党ネクストさが
田中 秀和 議員
唐津市・玄海町選出



県立学校における 生徒の安全確保について

問 生徒を巻き込んだ事故が全国的に大きく報道され、保護者の中には、部活動の遠征や修学旅行における安全確保に不安を感じている方もおり、生徒の学校行事における安全強化を求める多くの声があつた。こうした状況の中、生徒が学校生活を安全に送ることができるよう、教育委員会としてどのように取り組んでいくのか。

答 かけがえのない命が失われることは大変痛ましく、未来ある子どもたちの命を守りたいと考えている。学校においては、生徒一人ひとりが日々の活動の中で、健やかに、安全かつ安心して学べる環境を整えることが教育を行う上での基盤である。

各学校では、毎年度、学校安全計画を定め、生徒への安全教育や教員研修を実施するとともに、安全管理および危機管理体制を整備している。また、安全教育は非常に大切だと考えており、生徒が学校外でも自らの安全を守ることができるよう、防犯や交通、水辺などに関する安全教育を行っている。今後も、教育委員会として、安全で安心な教育環境づくりに努めていく。

他の質問項目▶ 防災庁設置の動きと防災大学の誘致／佐賀県の高等教育環境／佐賀唐津道路の唐津相知問



自由民主党
青木 一功 議員
佐賀市選出



森林の保全について

問 我が国では、外国人や外国資本による土地取得に対して、明確で実効的な規制がほとんど存在せず、利用目的が明らかでない水源地周辺の森林の買収事例が社会問題化している。このようなか、水源地保全に関する条例が全国各地で制定され、佐賀県でも「佐賀県豊かな山を未来へつなぐ条例」が制定された。本条例により、外国資本による森林の土地取引の抑制を期待しているが、文言を見ると十分に機能するとは考えられず、独自性も見られない。については、2点問う。本条例は外国人や外国資本による土地取得を規制する狙いがあると思うがどうか。また、外国人や外国資本による土地取引に対して効果があると思うか。

答 一点目については、外国人や外国資本にかかわらず、条例に沿って毅然として対処する前提であり、本条例の趣旨としては国籍も関係なく利用目的をしっかりと確認していくものである。二点目については、本条例は罰則規定があるので、条例に反した人については効果がある。

他の質問項目▶ 佐賀駐屯地／自転車の安全利用



自由民主党ネクストさが
岡口 重文 議員
伊万里市選出



伊万里港浦ノ崎地区の 利活用について

問 伊万里港浦ノ崎地区は埋立が進み、将来は約80ヘクタールを超える広大な用地が生まれる見込みであり、地元や企業からの関心も高まっている。加えて、国の重点戦略分野に港湾関連の項目が含まれ、国を挙げて検討を進めようとしており、今がまさにチャンスである。

これを逃さないためには民間や国の動きに即応できるよう、県有地として登記するなど、具体的な利活用の検討を進めるべき時期に来ているのではないか。

答 伊万里港浦ノ崎地区は、前面に大水深を有し、将来的には約80ヘクタールに及ぶ広大な用地となる。伊万里港はアジアの活力を取り込める可能性に満ちた港であり、この浦ノ崎が生かされれば、伊万里港、ひいては佐賀県の発展につながると認識している。

一方で、すぐに活用するには地盤改良など莫大な費用を要する課題があり、民間の大規模投資や大型国家プロジェクトとの連携が考えられる。県としても、各方面と常にその可能性を探っていく。

他の質問項目▶ 園芸農業の振興／看護職員の確保



県民ネットワーク
下田 寛 議員
鳥栖市選出



外部と連携した 高校教育について

問 高校無償化や昨今のAI技術の急速な進展や人口減少社会の到来を見据え、地域課題を主体的に解決できる人材育成のためには、企業・大学・CSO等との連携強化が不可欠である。

外部と連携した高校教育を、学校現場の負担に依存しない形で持続可能なものとしていくため、今後どのような体制づくりを進めていくのか。

答 子どもたちがこれからの社会を主体的に生きていくためには、高校教育においても、自ら課題を見だし、解決していく課題解決型の学びへと質的転換を図ることが求められている。そのためには、これまで以上に外部との連携を強化する必要がある。外部機関との調整を行う専門人材の配置や、県内の大学、産業界との連携を深めていくための体制を充実させていく。そのうえで、佐賀が誇る地域の豊かなつながり、人、フィールドを教育資源として、これからの高校教育、学校づくりに取り組み、未来を担う人づくりに尽力していく。

他の質問項目▶ 「魅せる収蔵庫」整備に係る知事の想い／離婚後の共同親権／CSO誘致政策の進化／鳥栖市の土地活用



県民ネットワーク
野田 勝人 議員
多久市選出



地域交通における タクシースの在り方について



問 人口減少が進む中、オンデマンド交通サービスは移動格差の解消や高齢者の外出機会創出に資する新たな交通手段として期待され、今後も県内で普及していくと考えられる。一方で、安価な運賃や利便性の高さから既存タクシーの利用減少も懸念される。両者の共存を図ることで利便性向上に資する創出などまちづくりに寄与することが重要と考えるが、県として今後どのように取り組んでいくのか。



答 オンデマンドタクシーは県内でも導入が進んでおり、市町ごとに、できるだけ既存のタクシー事業者に影響が出ないよう配慮して運行されていると認識。地域交通を持続可能なものとするには、単一の交通手段に頼るのではなく、複数の交通手段を組み合わせることも重要。地域それぞれの特性や移動ニーズを踏まえ、関係者が知恵を出し合いながらつくり上げていく必要がある。県としても、タクシーを含めた地域交通全体が持続可能となるよう、引き続き市町等と連携して取り組んでいく。

他の質問項目▶ 人口減少社会／担い手への農地集積・集約／山の博覧会の開催に向けた取組



自由民主党ネクストさが
弘川 貴紀 議員
伊万里市選出



民生委員・児童委員について



問 佐賀県は、民生委員・児童委員の充足率が約97%で九州では1位、全国でも指折りの県である。民生委員・児童委員は地域の門番的役割であり、地域の最後の砦とも考えているが、こうして地域のために活動されている民生委員・児童委員に対して知事はどのような思いを持っているか。また、活動を広く周知するためにも、本県開催は一度もない全国民生委員児童委員大会の佐賀県への誘致に対する見解を伺いたい。



答 民生委員・児童委員の皆様は、地域になくはならない存在で、その日々の活動は、地域にとってかけがえのないもの。この先もずっと、佐賀が佐賀のすばらしさを持ち続けられるように大切に、応援していきたい。全国大会については、開催の中心を担われる佐賀県民生委員児童委員協議会に本県開催の気持ちをお願いしたい。SAGAアリーナの完成以降、佐賀県初の全国大会を開催した実績やノウハウがあり問題なく開催できる。協議会の皆さんが開催を決定され、本県で全国大会が開催できるよう県としても全力で応援していく。

他の質問項目▶ 次世代の情報通信基盤／スポーツ団体との連携／ネクストハイスクール構想



自由民主党
坂口 祐樹 議員
鹿島市・太良町選出



長崎本線上下分離区間の 利便性向上について



問 長崎本線上下分離区間においては、いまだ交通系ICカードが使えない状況である。長年にわたり検討されてきたものの実現には至っておらず、地域住民が不便を感じているほか、観光客が駅で戸惑う場面も見受けられる。

県が初期費用の負担に前向きな姿勢を示す中で、どのような課題があるか。また、維持費をはじめJR九州との調整をどのように進めていくのか。利便性向上と観光振興の観点からも前向きな対応が求められると考えるが、導入に向けた見解を伺いたい。



答 ICカード導入には多額の初期費用と維持費の費用負担などの課題があり、JR九州との合意が必要。導入が実現した佐世保線の経緯から考えても、簡単ではない。これまでも上下分離区間の初期費用の負担を含む様々な提案をJR九州に働きかけてきたが、実現していない。県においても地元の声を聞きながら利便性向上の取組を様々実施。今後沿線市町とともに検討し、ICカードを導入に向けたJR九州への提案・要望を含め、上下分離区間の利便性向上に着実に取り組んでいきたい。

他の質問項目▶ 自転車の歩道通行／高校無償化を踏まえた県立高校の取組／屋外広告物



自由民主党
藤木 卓一郎 議員
小城市選出



九州新幹線 西九州ルートについて



問 新幹線問題の核心となる財政負担の問題について、フリーゲージトレイン断念の経緯や国の責任を踏まえれば、財政負担を660億円以下とすることが協議の本質だと考えるが、国に対してどのような要望や負担軽減策を要求しているのか。また、県民の支持が見えない中で南回りルートにこだわる理由は何か。さらに、国との交渉の在り方について、協議の経過は議会に報告すべきと考えるがどうか。



答 財政負担やルート、在来線など、どの課題をセットで多面的に考える必要がある。慎重な議論が必要。水嶋次官との間でフル規格整備の可能性について二者協議が続いている。財政負担については今のスキームでは難しいとの認識で一致。ルートについては自身フラット。県内に様々な意見があり、議論を深めるためにも選択肢を限定すべきではない。二者協議は交渉事でもあり非公開としているが、一定の方向性が見えれば県議会に報告したい。未来に禍根を残さない方向性を県民の皆さんに提示できるよう、国との間で粘り強く議論を深めていきたい。

他の質問項目▶ 鳥獣被害対策／トレーニングファーム卒業生に対する支援のあり方／知事の政治姿勢



総務
常任委員会



6月24日



6月25日

付託議案7件のうち、5件が原案可決、2件が同意されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（補正）予算関係分
- ・職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- ・監査委員の選任について

【主な質疑事項】

- ・世界海洋プラスチックプランニングセンターについて
- ・情報発信事業サガプライズ！「キングダム×佐賀県」コラボについて
- ・警察庁の特別監察の最終結果を受けて
- ・県立大学について

【現地視察の様子】



世界海洋プラスチックプランニングセンター
センターの概要と取組

文教厚生
常任委員会



6月25日

付託議案5件が原案可決され、請願1件が採択されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（補正）予算関係分
- ・公立学校職員特殊勤務手当及びへき地手当支給条例の一部改正
- ・県有財産の取得について

【主な質疑事項】

- ・小児医療施設・分娩取扱施設等への支援について
- ・県立特別支援学校の課題改善について
- ・女性相談支援体制について
- ・不登校児童生徒への支援について

【現地視察の様子】



さが出会いサポートセンター
結婚支援事業の取組状況

農林水産商工
常任委員会



6月25日

付託議案4件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（補正）予算関係分
- ・産業用地造成事業特別会計（補正）予算
- ・国営土地改良事業に対する市町の負担について

【主な質疑事項】

- ・県産木材の利用拡大に向けた取組について
- ・玄海地区における水産業の振興について
- ・全国お茶まつり佐賀大会（SAGA茶祭2026）と今後の茶の振興について
- ・企業誘致について

【現地視察の様子】



工業技術センター
工業技術センターの研究開発の成果等

地域交流・
県土整備
常任委員会



6月25日

付託議案4件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（補正）予算関係分
- ・港湾整備事業特別会計（補正）予算
- ・県立博物館及び県立美術館の使用料に関する条例の一部改正

【主な質疑事項】

- ・九州新幹線西九州ルートについて
- ・ツール・ド・九州2026について
- ・水害への備えについて
- ・全国都市緑化フェア・山の博覧会について

【現地視察の様子】



松浦川皿堰
河川整備交付金事業に係る
松浦川皿堰の改築工事の状況

新幹線・地域交通
問題対策等
特別委員会



6月29日

国土交通省鉄道局次長の小林太郎氏を参考人として招致し、九州新幹線西九州ルートのこれまでの経緯と今後について、意見を述べていただき、質疑が行われました。

【主な質疑事項】

- ・対面乗換方式の課題、全線整備に対する認識について
- ・武雄温泉駅から新鳥栖駅間の整備が進まない理由について
- ・ルートを特定しない環境アセスメントについて
- ・財政負担について
- ・人口減少や、建設費の高騰など、状況を踏まえた整備新幹線の持続可能なスキームの在り方について
- ・地方交付税措置を常時70％程度に引き上げる考えに対する認識について

【質疑の様子】



高等教育機関
問題対策等
特別委員会

「西九州大学佐賀キャンパス」及び「佐賀大学」にて、入学者募集に関する取組や、佐賀大学における地域連携の取組等について現地視察を行いました。

【現地視察の様子】



西九州大学佐賀キャンパス
入学者募集に関する取組



佐賀大学
佐賀大学における地域連携の取組等

県議会のここが知りたい！

各定例会の流れは次のようになっています。

招 集	知事が招集します
議会運営委員会	議員の中から委員を選び、議会の運営方法について話し合います
開 会	議長が開会を宣告します
会期の決定	議会の開催期間を決めます
議案の説明	知事が提出議案について説明します
質疑・質問	議員が議案や県の仕事(事業)について質問し知事や部局長が答えます
委員会付託	議案を専門的に審査するために関係の委員会に送ります
委 員 会	送付された議案・請願について審査し、委員会として賛成か反対かを決めます
委員長報告	委員会の審査が終わると再び本会議を開き、各委員長から審査の経過と結果を報告します
討 論	議員から議案について賛成か反対かの意見を述べます
採 決	議案について賛成か反対かを決めます
閉 会	全ての議案の採決が終わると議長が閉会を宣告します

■ 9月定例会 会期日程(予定)

本会議 (開会)	9月2日(水)
本会議 (一般質問)	9月8日(火) 9月9日(水) 9月10日(木)
常任委員会	9月15日(火) 9月16日(水)
特別委員会	9月18日(金)
本会議 (委員長報告)	9月24日(木)
本会議 (討論・採決)	9月25日(金)

※会期及び日程は変更される場合があります。
最新の日程は県議会ホームページでご確認ください。



有田小学校のみなさんが 議会棟を見学しました！



傍聴席や議場を見学し、実際に議員の席に座って、
県議会の役割や仕組みについて学びました。



ありがとうございました！

議会棟を見学しませんか？

見学者大募集中！！

本会議等の行事がない日は、議会棟の見学ができます。※事前予約制
本会議場や傍聴席等をご案内し、議会の仕組みや施設の概要についてご説明します。
ぜひ、社会科見学や勉強会等にご利用ください。

見学時間 月～金 / 午前9時～午後5時（祝日、年末年始を除く）

所要時間 約30分 **問合せ** 0952-25-7215（議会事務局 総務課）

◆九州各県議会議長会議が 開催されました

5月13日（水曜日）、佐賀市において九州各県
議会議長会議が開催され、宮原議長が座長として
議事を進行し、国への要望事項などについて議論
しました。



詳しくは
こちら



◆留守茂幸議員が 表彰を受けました

在職35年を迎えた留守議員が、
永年の功績をたたえられ、佐賀県議
会から表彰されました。



佐賀県議会公式Xを始めました



佐賀県議会公式
@gikai_saga



佐賀県議会
公式チャンネル



「佐賀県議会 映像配信」や
「会議日程」、「会議録」など
がご覧いただけます。

佐賀県議会

検索

